

《担当者名》河合 祐子（客員教授）

【概要】

カウンセリングの実際およびプロセスを理解し、カウンセリング実践における基本的な姿勢・態度および基礎的技法を学ぶ。協働関係構築の土台となる言語的・非言語的コミュニケーションの技能と人間関係力を身につける。提示されている心理的困難等の把握、目標の設定などの一連の流れのつくり方を学ぶ。

【学修目標】

カウンセリングにおける基本的な姿勢・態度および基礎的技法を身につけ、実習を行う能力を養う。

協働関係構築を促進する言語的・非言語的コミュニケーションを行うことができるようになる。

模擬カウンセリングセッションを実施することができるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理臨床家としての自己	自分自身が仕事道具となることを学ぶ。	河合 祐子
2	カウンセリングの実際	カウンセリングの実際について学ぶ。	河合 祐子
3	基本的な姿勢・態度	クライアント中心療法を体験的に学ぶ。	河合 祐子
4	基本的な姿勢・態度	ヒューマニスティック・アプローチを学ぶ。	河合 祐子
5	基本的な姿勢・態度	傾聴と共感の表し方を知る。	河合 祐子
6	基本的な姿勢・態度	傾聴と共感の表し方を身につける。	河合 祐子
7	カウンセリングのプロセス	カウンセリングのプロセスを学ぶ。	河合 祐子
8	「語り」と「問いかけ」	「語り」に耳を傾け、「伝え返し」「問いかけ」のできる土台をつくる。	河合 祐子
9	ノンバーバル・コミュニケーション	ノンバーバル・コミュニケーションの方法とスキルを学ぶ。	河合 祐子
10	ノンバーバル・コミュニケーション	自分のノンバーバル・コミュニケーションの特徴とスタイルを知る。	河合 祐子
11	表情と感情	表情から感情を読み取るスキルを身につける。	河合 祐子
12	言語と感情	言語表現に現れている、あるいは隠されている感情を捉えるスキルを身につける。	河合 祐子
13	感情の表出・言語化	自分の感情を適切に表出、表現ができる。	河合 祐子
14	意図の表出・言語化	自分の意図を適切に表現、説明ができる。	河合 祐子
15	心理的接触・響き合い	「絵本の読み聞かせ」体験を通じ、人と人の心理的接触、心と心の響き合いを実体験する。	河合 祐子
16	心理的接触・響き合い	「絵本の読み聞かせ」体験を通じ、相手に届く言葉・音声・音調を体得する。	河合 祐子
17	聴く姿勢と基本的な技法	聴く姿勢と基本的な技法を習得する。	河合 祐子
18	聴く姿勢と基本的な技法	聴く姿勢と基本的な技法の習得度合を確認する。	河合 祐子
19	ストレングス・リソース	ストレングスとリソースについて学ぶ。	河合 祐子
20	ストレングス・リソース	ストレングスとリソースが現れてくる「問いかけ」の仕方を学ぶ。	河合 祐子
21	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、初回セッションの導入部における振る舞いを習得する。	河合 祐子
22	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、初回セッションにおける協働関係の構築方法を学ぶ。	河合 祐子
23	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、初回セッションにおける、提示されている心理的困難の捉え方を学ぶ。	河合 祐子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
24	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、初回セッションにおける、目標設定の仕方を学ぶ。	河合 祐子
25	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、目標達成に向けての協働作業の進め方を身につける。	河合 祐子
26	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、継続セッションの進め方を身につける。	河合 祐子
27	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、継続セッションの進め方を身につける。	河合 祐子
28	模擬カウンセリングセッション	ロールプレイ等を通じて、終結の仕方を身につける。	河合 祐子
29	「語り」を聴く姿勢（聴くモード）	各自の聴く姿勢（聴くモード）を示し、形成の完成度合いを確認する。	河合 祐子
30	心理支援の専門家	心理支援の専門家としての視点を考察する。	河合 祐子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間レポート（20%）、授業内課題（40%）、最終レポート（40%）により評価する。
グループワークやロールプレイ、中間レポートのフィードバックを随時行う。

【教科書】

特定の教科書は指定しない。講義資料を配付する。

【参考書】

適宜指示する。

【学修の準備】

授業で理解の理解を確実にするよう、配付資料等の復習をすること。さらに、身につけたことが定着するよう、振る舞いを復習（練習）すること。（80分～120分）

事前学習として、前回授業内容の想起と、配付資料等のうち指示された箇所を読むこと。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

心理臨床経験を反映させた演習内容を提示し、心理支援における姿勢と技法の習得を確実にする。